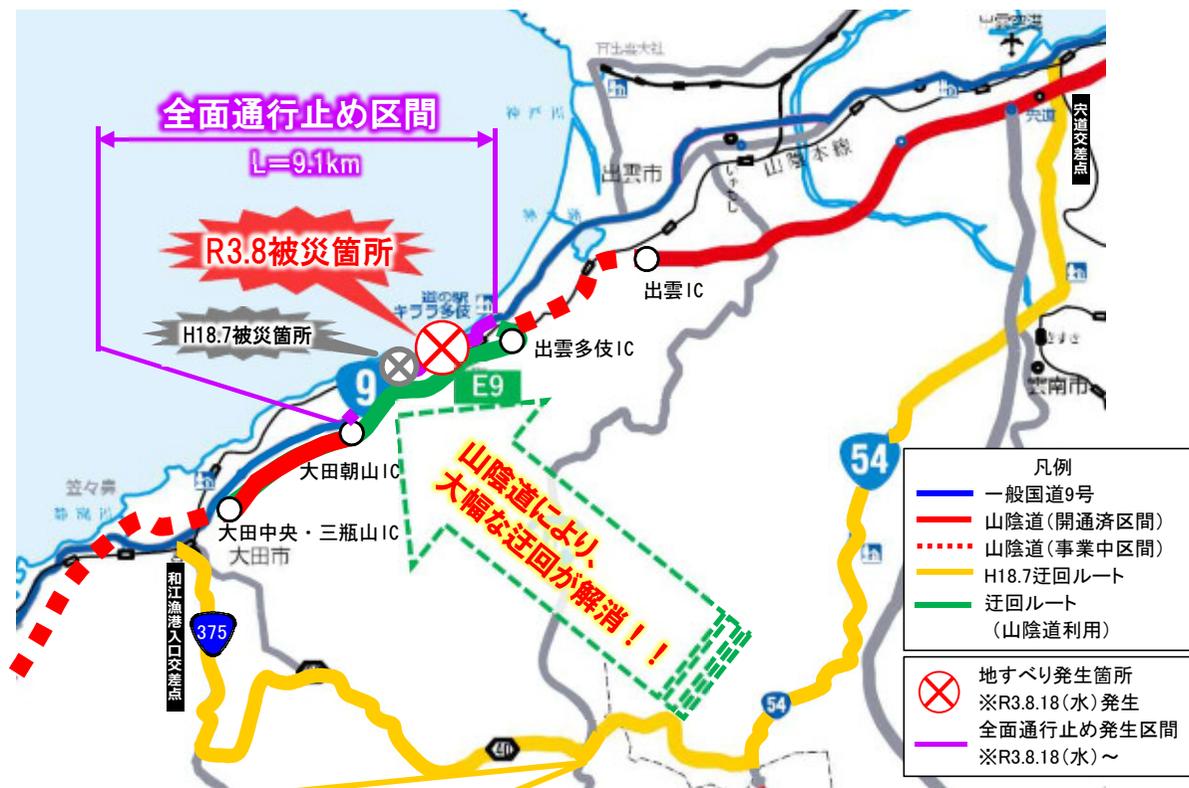


山陰道が大規模災害時に代替路機能を発揮!

○令和3年8月の大雨により国道9号が全面通行止めとなったが、**山陰道が代替路として機能を発揮し、東西を結ぶ道路ネットワーク途絶の回避に貢献!!**

国道9号の全面通行止めによる迂回状況



平成18年7月、国道9号が約35時間の全面通行止めとなり、国道54号での迂回を強いられ、所要時間が大幅に増加した。

<道路利用者の声>



社の配送関係に大きな影響はなく、高速(山陰道)があってよかった。山陰道がなく、配送ができなかったら、休業となっていたかもしれない。(R3.9 出雲市内の製造メーカーへのヒアリング結果)

山陰道整備前後の宍道～大田間の迂回時間

⚠ H18年災害時迂回ルートは、現在と比較し**約2倍(127分)の時間を要した。**

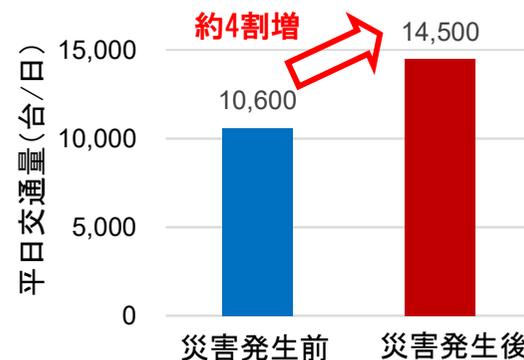


※) H18年度: R54号～県道川本波多線～県道三瓶山公園線～大邑広域農道～R375号
R3年度: R9号～山陰道(出雲多伎IC～大田中央・三瓶山IC)～R9号
(走行速度は、山陰道は70km/h、一般道は40km/hと設定)

災害発生前後の山陰道の交通量

通行止め後の山陰道の交通量は、**約4割増加**しており、**代替路としての機能を発揮**している。

災害発生前後の山陰道の交通量比較



※) 交通量グラフは松江国道事務所データから作成

出典元) 国土交通省松江国道事務所